# ユメノ銀河（1997）

**メディア** 映画
**ジャンル** ドラマ
**製作国** 日本
**色彩** B&W
**時間** 90分
**初公開日** 1997/02/15
**公開情報** ケイエスエス

**【解説】**
戦後も間もない、ある地方都市。少女たちの憧れの職業である乗合バスの女車掌に就いたトミ子は、しかし変化のない仕事に嫌気がさし始めていた。そんなある日、トミ子の親友ツヤ子が、婚約者の運転するバスに同乗していて事故死したという知らせが届く。弔問の帰り道、トミ子は女車掌の間に流れるある運転手の噂を耳にする。転々とバス会社を変えるその男と組んだ車掌は、必ず謎の死を遂げているというのだ。それからしばらくして、トミ子の勤める玄海バスに、都会の雰囲気を漂わせた青年が運転手として入社してくる。新高という青年の名を聞いたトミ子は、彼がツヤ子の婚約者と同一人物であり、しかも一連の女車掌の事故死は彼による殺人ではないかとの疑いを持つ。新高と組んだトミ子は彼の正体を暴くため事ある毎に観察を続けるが、次第に新高の不思議な魅力に惹かれていく。拭い切れぬ疑惑を抱いたまま、トミ子は命がけの恋に突き進んでいくのであった……。
夢野久作の連作短編「少女地獄」の一篇「殺人リレー」を原作に、『エンジェル・ダスト』『水の中の八月』の石井聰亙が危険な恋に落ちるひとりの女の心象を描いた劇場用映画。全編モノクロームの画面は常に緊張感に満ち、明快とは言い難いストーリーに妖しい魅力を与えている。

**【クレジット】**

| | | | |
|---|---|---|---|
| **監督** | 石井聰亙 | | |
| **製作** | 須崎一夫 | | |
| **企画** | 伊藤靖浩 | | |
| | 神野智 | | |
| **プロデューサー** | 下田淳行 | | |
| | 鎌田賢一 | | |
| **原作** | 夢野久作 | | 「少女地獄」 |
| **脚本** | 石井聰亙 | | |
| **撮影** | 笠松則通 | | |
| **美術** | 磯見俊裕 | | |
| | 高橋栄香 | | |
| **編集** | 鈴木歓 | | |
| **音楽** | 小野川浩幸 | | |
| **出演** | 小嶺麗奈 | | 友成トミ子 |
| | 浅野忠信 | Tadanobu Asano | 新高竜夫 |
| | 京野ことみ | | 山下智恵子 |
| | 嶋田久作 | Kyusaku Shimada | 黒トンビの男 |
| | 黒谷友香 | | 月川艶子 |
| | 真野きりな | | アイ子 |
| | 松尾れい子 | | 松浦ミネ子 |

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。 Copyright (C) 2024 Stingray. All Rights Reserved.

| | |
|---|---|
| 鄭義信 | 恵比寿 |
| 池田武志 | 強面 |
| 近藤結宥花 | 艶子の姉 |
| 本阿弥周子 | 艶子の母 |

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。 Copyright (C) 2024 Stingray. All Rights Reserved.